

# 坂の上通信

平成三十年九月十九日  
広島市立美鈴が丘高等学校  
新聞文化部(四〇三演習室)

## 真剣勝負の名場面

省略された競技があったとはいえ、今年の体育祭も数多くの名場面が見られた。中でも1年生の全員リレーでは先生チームが参加。アンカーは校長先生が務め、応援席は大いに盛り上がった。

「皆よく頑張りました。隊形移動が多くて、見る人も楽しめたダンスに仕上がりました。もう少し早くから、全体でしっかり取り組めたらよかったですね。その点は反省点です。来年の2年生もしっかり声を出して、工夫して観客を楽しませるダンスを踊ってください」

美高の体育祭では、3年生が浴衣を着て踊るのが大きな特徴だ。今年も非常に華やかな光景がみられた。▼間違われやすいが、この競技「みんよう」は「民謡」ではなく「民踊」である。わらべ歌など子供向けのものや年中行事にまつわる歌などの総称を「民謡」と呼ぶが、その民謡に振りをつけた踊りのことを「民踊」という。様々な地域で、古くから踊り継がれている▼日本で有名な民踊には、ソーラン節、花笠音頭、佐渡おけさなどがある。民踊はその土地で受け継がれてきたものであるため、一種の文化遺産としての意味を持つとも言える。しかし残念なことに、最近の少子高齢化や過疎化により、こうした貴重な民踊が消えていく場合もあるようだ▼昨今、体育祭でソーラン節を踊る学校も多い。美高で踊られる美鈴音頭も、美高の歴史とともに伝わる文化である。今後も、この伝統は踊り継いでいきたい。(岡崎紗七海)

## 美・鈴・鈴・鈴

# 体育祭 閉幕

## 雨にも負けず 白組優勝

今年の体育祭は紅組が2821点、白組が2890点で白組が2年連続で勝利した。序盤は紅組が優勢だったが、白組が逆転した展開となった。

例年より幾分涼しい体育祭となった。午前の部の最後に行われる部活対抗リレーの最中に雨が降り始めたが、午前中の競技は全て消化することができた。雨はその後強まり、午後の部は約1時間遅れて開始。運動部を中心に、水たまりのできたグラウンドの整備が行われた。ただ、短距離走やクラス対抗リレーの決勝など、一部の競技は省略された。



クラスごとの団扇をもち「大広島音頭」「美鈴音頭」などを踊る3年生

省略された競技があったとはいえ、今年の体育祭も数多くの名場面が見られた。中でも1年生の全員リレーでは先生チームが参加。アンカーは校長先生が務め、応援席は大いに盛り上がった。

また、2年生男子の全員で行う騎馬戦でも白熱した戦いが繰り広げられた。両チームとも取っては取られを繰り返して、応援席もその度に歓声があがっていた。結果は、1回戦目が紅組、2回戦目が白組、3回戦目は引き分けとなり、決着は翌年に持ち越された。

2年生にはフオークダンスがあり、その一部には生徒自身で考えた作品を発表する創作ダンスが含まれる。どのクラスも創意工夫を凝らしたダンスを披露したが、グランプリは5組が受賞した。

今年の創作ダンスについて津島先生にお話を伺った。



競技の様子。上からクラス対抗リレー(1年生)、綱引き(左・3年生)、騎馬戦(右・2年生)



綱引き(左・3年生)、騎馬戦(右・2年生)

## 編集後記

今年も、部活対抗リレーに参加して特別号を配付した。保護者限定号なので、ぜひHPを確認してほしい。